

## IV 令和7年度 富山市民大学に関するアンケート結果報告書

### 1 調査の趣旨

令和7年度の市民大学受講者の実態及び意識を把握し、今後の市民大学運営に資する。

### 2 実施スケジュール

- ・実施期間 9月～11月（7月までのコースでは、7月に実施）
- ・調査結果入力 10月～12月
- ・調査結果集計・考察 1月～2月

### 3 調査方法

- ・コースが7～8割ほど終了した時点でアンケート実施。
- ・講義前にアンケート用紙を配布して協力を依頼し、休憩時や退室時に回収。
- ・アンケート用紙は両面とし、表面に受講コースに関する設問を、裏面に市民大学全般に関する設問を記載。複数コースの受講者は、表面は受講しているコース毎に、裏面は1回みの記入。
- ・新規に開設を希望する講座についての設問を追加した。
- ・昨年度のアンケートで追加したデジタル環境活用に関する設問について一部変更した。

### 4 回答者

【表面】1,202名/1,841名（延人数） 回答率 65.3% （昨年 67.2%）

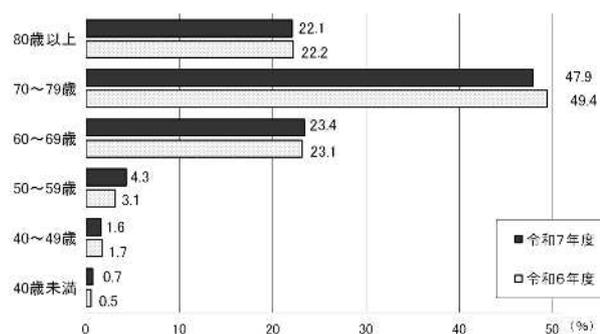
【裏面】1,000名/1,318名（実人数） 回答率 75.9% （昨年 78.9%）

### 5 令和年度 富山市民大学受講者の属性

#### （1）年代

- ・受講者のうち、60歳以上が93.4%（昨年94.7%）を占める。平均年齢は昨年より0.1ポイント下降し72.8歳である。平均年齢は、5年前（2020年）72.7歳であり、この5年間はほぼ横ばいである。

前年度との割合比較



#### <考察>

10年前の2015年に、受講者の平均年齢が70歳を超え、80歳以上の割合も10%を超えた。ここ5年間の傾向にあまり変化はないが、現在、後期高齢者の割合が46.4%を占める。この後の10年を考えると、ますます高齢化することが予想される。その理由として、「高年齢者雇用安定法」（2021年4月施行）の経過措置が2025年4月に終了したことにより、今後は65歳はもちろん、より多くのシニア世代が継続して働くことが予想されることから、ますます市民大学の受講者の年齢層は上がると予想される。

(2) 居住地

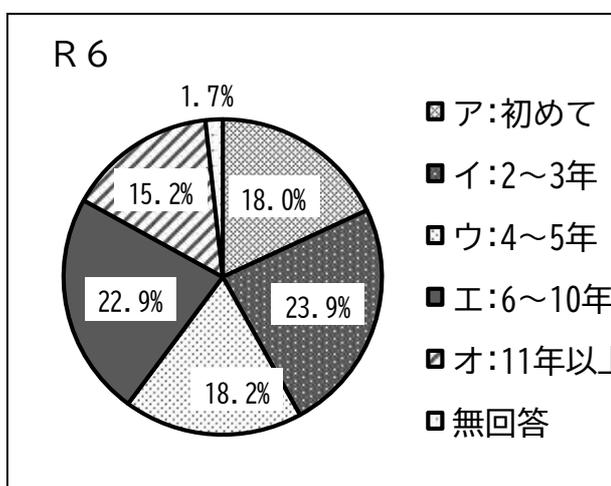
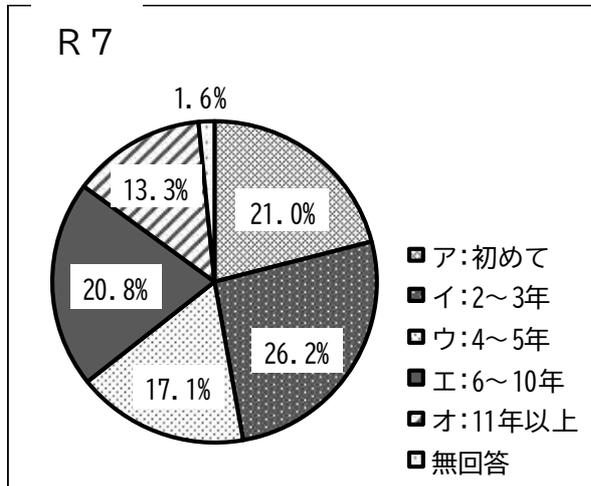
・受講者の 88.2%が「旧富山市内」の居住で、次に多いのが「婦中地域」5.6%である。市外（勤務地が富山市内）の受講者が、6名で0.5%となっている。この割合は、例年とほぼ変わらない。

6 アンケート結果と考察 回答数(表面)1,202名

参考：文章中（ ）は昨年度の数値

(1) 受講経験等について【設問1～3】

「1. 市民大学の通算受講年数」について



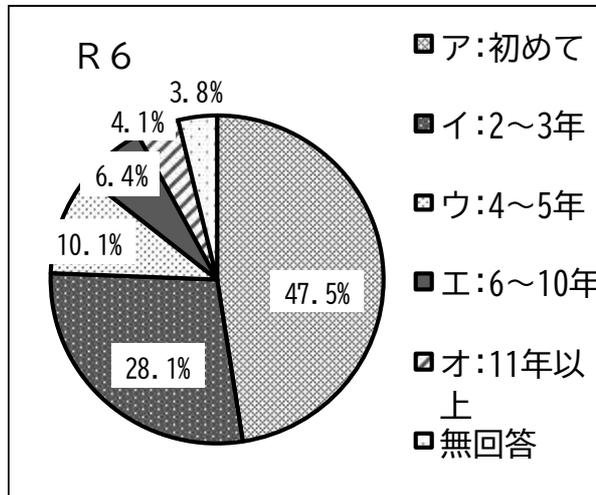
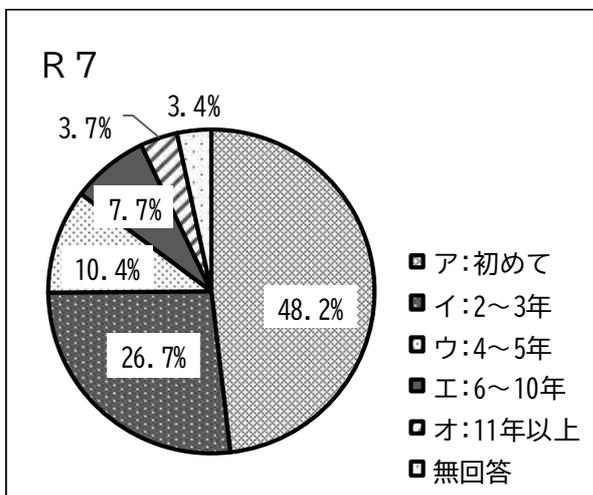
・「初めて」・「2～3年」を合わせて47.2%(41.9%)を占めている。

・一方、6年以上の受講者が34.1%(38.1%)を占めており、中でも「11年以上の受講者」は13.3%(15.2%)を占める。このうち、11～15年が11名、16～20年が13名、21年以上が12名となっている。最長で40年という受講者がいる。

<考察>

- ・「初めて」・「2～3年」ともに、昨年より割合が増加している。これらの受講者が、どのようなきっかけで、受講を始めたのかを知ることが、新規受講者の確保につながるのではないかと。別のデータでは、新規受講者を年代別に見ると60歳代が最も多く、「広報とやま」を情報源としていることから、セカンドライフとして市民大学が認知されていると思われる。
- ・6年以上の受講者が多くいることから、市民大学への満足度が高く、市民大学に通うことが、生活の一部となっていると考えられる。

「2. コースの通算受講年数」について

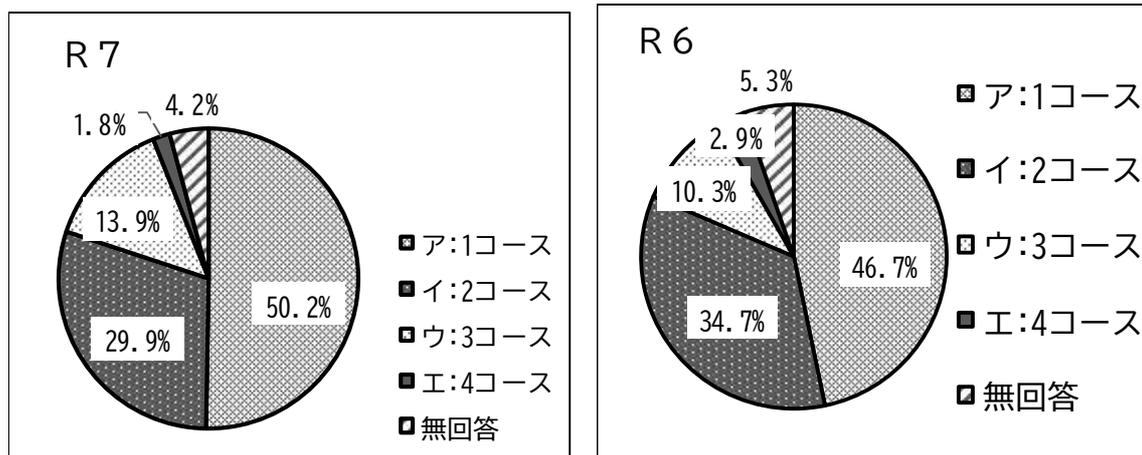


- ・このコースを初めて受講した人は、48.2%（47.5%）で、約1/2を占めている。
- ・「初めて」・「2～3年」を合わせて74.9%（75.6%）を占めている。
- ・同じコースを6年以上受講している割合は11.4%（10.5%）であった。

<考察>

市民大学自体の通算受講年数3年以内の受講者47.2%に対し、コースの通算受講年数3年以内は74.9%であることから、少なくとも1/3以上の受講者がコースを変えて市民大学を継続受講している。実際に市民大学を受講したことで、コース内容に満足されるとともに、さらに新しいことへの好奇心や学習意欲が高まっていると推測される。

### 「3. 受講コース数」について



- ・2コースを受講している受講者が29.9%と、昨年(34.3%)に比べて減少し、1コースのみ受講している受講者が増えている。
- 一方、3コース以上を受講している受講者が15.7%と、昨年(13.2%)より2.5%増となっている。最高は5コースである。

<考察>

ここ2年間は、約半数の受講者が複数コースを受講していることから、複数コースの受講を差し控えていた受講者が、コロナ禍を経て積極的に受講されたものと推察する。

### (2) 受講コースの評価（時間・回数）について【設問4～6】

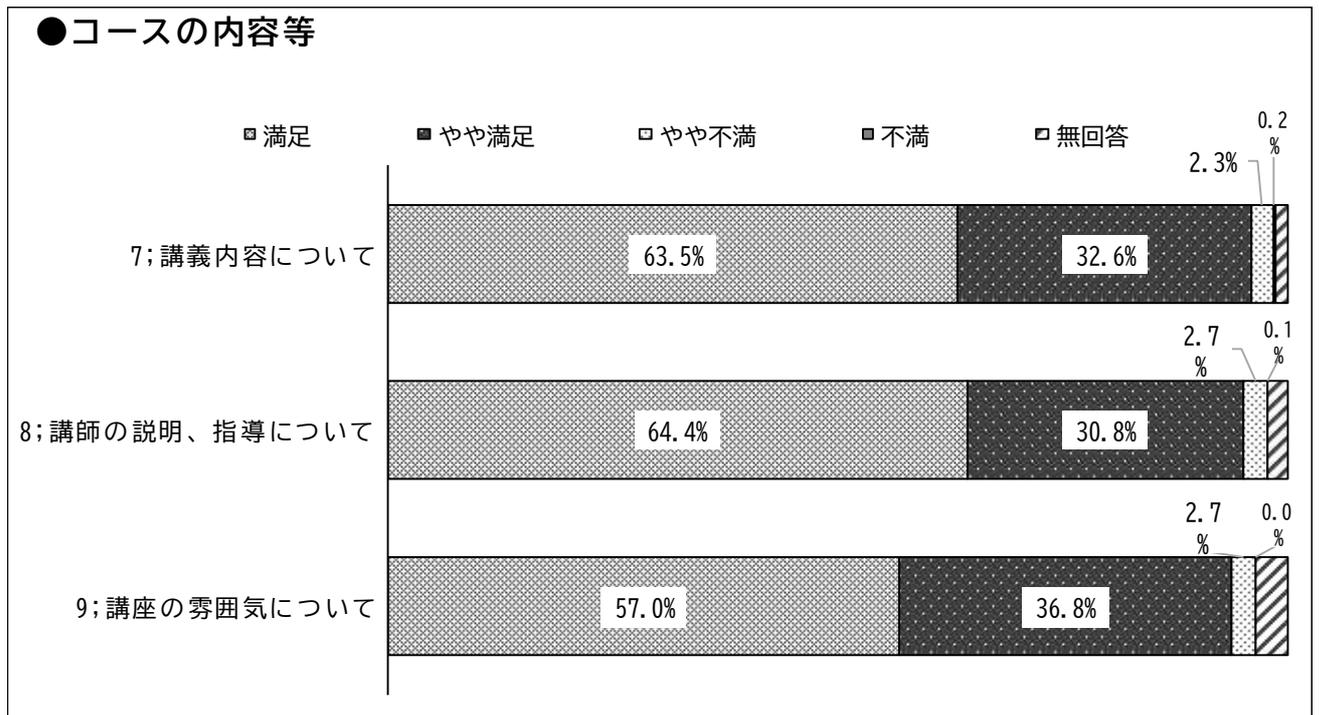
●このコースの時間・回数等について				
	ア:長い	イ:短い	ウ:ちょうどよい	無回答
4、現在の講義時間 (休憩を含み120分など)	53人 (4.4%)	21人 (1.7%)	1,112人 (92.5%)	16人 (1.3%)
	ア:多い	イ:少ない	ウ:ちょうどよい	無回答
5、講義の回数 (10回・15回など)	15人 (1.2%)	166人 (13.8%)	998人 (83.0%)	23人 (1.9%)
	ア:早い	イ:遅い	ウ:ちょうどよい	無回答
6、講義の開始時刻	72人 (6.0%)	22人 (1.8%)	1,074人 (89.4%)	34人 (2.8%)

- ・いずれの項目も、多くの受講者が「ちょうどよい」と回答している。
- ただし、「講義回数」については、「少ない」との意見が13.8%あり、一昨年(9.0%)昨年(11.6%)と、継続して増え続けている。
- ・講義時間の開始が早いという意見も、昨年から一定数ある。

<考察>

- ・「講義の回数が少ない」と答えている受講者の中には、通年での開講を望んでいる人がいるのではないか。自由記述の内容や、講義最終日の会話から、冬期間の学びの場を求めていることが伺えた。1月の特別講座への応募が多いことから、汲み取れる。特別講座を魅力のあるものになりたい。
- ・開始時刻については、「お出かけ定期券」を使用できる時間帯での開始の希望と、2025年10月の路線バス廃線や本数の削減による影響が、数値以上に、受講者の声として聞かれる。思うように受講できない悩みが感じ取れる。

(3) 受講コースの評価（内容等）について【設問7～9】

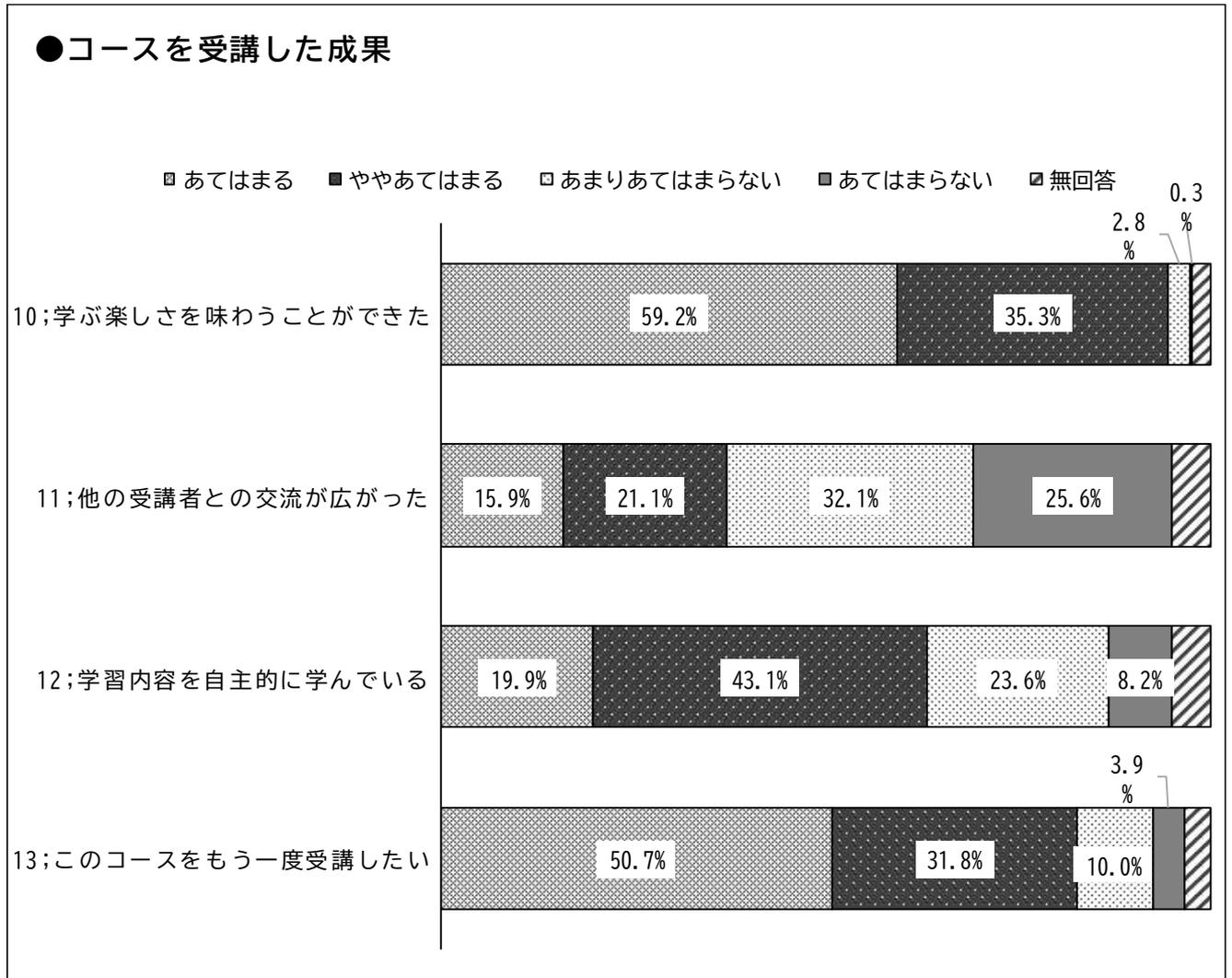


- ・どの項目も「満足」「やや満足」の割合が95%前後である。

<考察>

- ・自由記述から、自分の理解が深まり、世界が広がったことへの感謝が多数伝えられている。講座によって多少差はあるが、概ね受講者のニーズに合った講義が展開されており、それが継続して市民大学を受講する人の数に表れている。
- ・創作コースでは、「講座の雰囲気」についてポイントが高く、それに伴って「交流が広がる」と体感していることも伝わる。
- ・講座時間に質問時間の設定を望む意見や、一部の受講者が講師を独占して質問することに不快感を示す意見もある。講座担当者の配慮が必要な場面である。また、携帯電話の使用や私語については、他の受講者の学習意欲を妨げないよう、引き続き注意喚起していく必要がある。

(4) 受講した成果について【設問 10~13】



・「10 学ぶ楽しさを味わうことができた」の肯定的な意見は 94.5%、「12 学習内容を自主的に学んでいる」は、63.0%で、どちらも年々伸びている。

<考察>

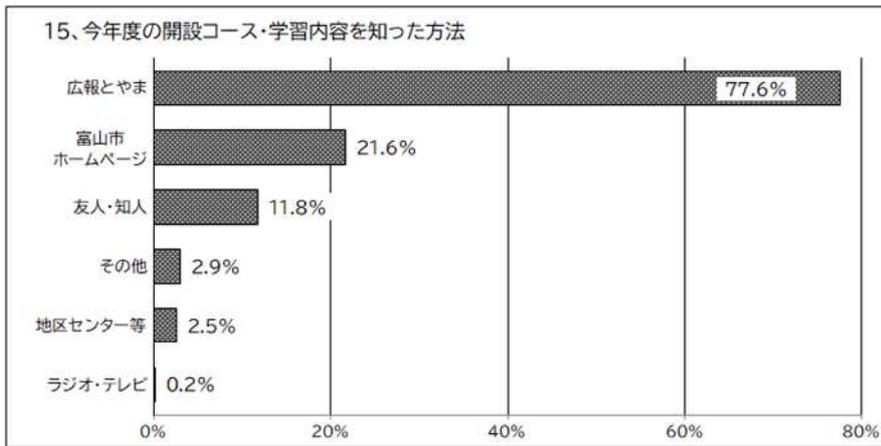
- ・自由記述での「学生時代に戻ったように…」「学生時代とは、違った角度から…」「まったく知らなかったことを知ることができた」などの記述から、受講による充実感が伝わる。
- ・「11 他の受講者との交流」については、講座の特性により異なる。また、学びの場に交流を求めている受講者もいる。
- ・「13 このコースをもう一度受講したい」については、講座の特性により、何年も継続する内容のものとそうでないものがある。一定の成果を感じるにより、新たな講座に挑戦しようとする場合もあると考える。

(5) コース全般について【設問 14：自由記述】（一部抜粋）

区 分		内 容
感想	全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の指導が丁寧で非常に良い。</li> <li>・身近な事がらを深く知ったり、役立つことがあってよい。</li> <li>・毎回の講師それぞれの特徴・独自性を盛り込んだ講義でよかった。</li> <li>・親しみやすく、分かりやすい解説でおもしろい。</li> <li>・精神世界の広がりや深みを感じます。</li> </ul>
	郷土	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能登半島沖地震があって、自分の住む土地の地質的な特徴を知りたくて講座を受け、満足している。</li> <li>・長く住んでいても、全く知らなかった郷土の歴史に触れることができ、大変意義深かった。</li> <li>・郷土の発展・変遷を埋蔵物等を通じて知ることができ、とても勉強になった。地中には、貴重なお宝が埋まっていると改めて思った。</li> </ul>
	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活のリズムになったし楽しかった。脳トレになっている。</li> <li>・受講を終えると、さわやかな気持ちになりました。</li> <li>・自分の気持ちが安定するような気がする。</li> <li>・毎回、楽しみにしています。「介護」の気分転換になっています。</li> </ul>
	生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生時代に学んだこととは別の角度から学べて良かった。</li> <li>・まるで学生時代に戻ったようにはつらつとしておりました。講師の先生の指導が大変すばらしかった。</li> <li>・現代に生きる我々は歴史にきちんと向き合うことが大切なので、講義を聞きながら学ぶべきは何かを常に自問自答しています。</li> <li>・いつも学び多く、また、楽しく聞けました。漢文は難しいものではないと気付きました。自分と重ねてこれからも読みたいです。</li> <li>・母も私も音楽が大好きで、講座で学んだことを家で母とシェアしています。「日本の歌」の時は、2人で一緒に歌って楽しみました。オペラを深く学びたかったので、世界の歌は私の糧となりました。宮原先生と堀江先生の一流の歌声を聴くことができ、なんてぜいたくなコースかと思いました。ありがとうございました。</li> <li>・孫育てが終わったので、楽しみをみつきたいと参加しました。久しぶりに学ぶことの楽しさを感じられ嬉しかったです。</li> </ul>
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々受講者が高齢化しており、受講者からの意見質問が少なくなった。一方的な講義にならないよう、もう少し、質問の時間をとってほしい。</li> <li>・最前列で、毎回、私的な質問をする人がいる。</li> </ul>	
要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月は猛暑のため外出を控えていた。8月を休みにして、他の月に振り替えていただければよいと思います。</li> <li>・ほぼ毎回、予定された講義終了時間を超える。時間配分をちゃんとしてほしい。</li> <li>・テーブルに椅子が2脚あるが、ひとりで座っている方が多く、後の方に座ることになる。空席に鞆を置かないようにしてほしい。</li> <li>・いつものことですが、携帯電話が鳴り、メールをしている人がいる。とても気になります。</li> <li>・「おでかけ定期券」の利用が9時からなので、9:30 開始では有効にならない。開始時間を 9:45 にできないか。</li> <li>・3、4階のトイレを洋式にしてもらえないか。高齢で腰の悪い人も多く、話題になっています。</li> </ul>	

(6) 市民大学全般について【設問 15～22】 回答数(裏面)1000名

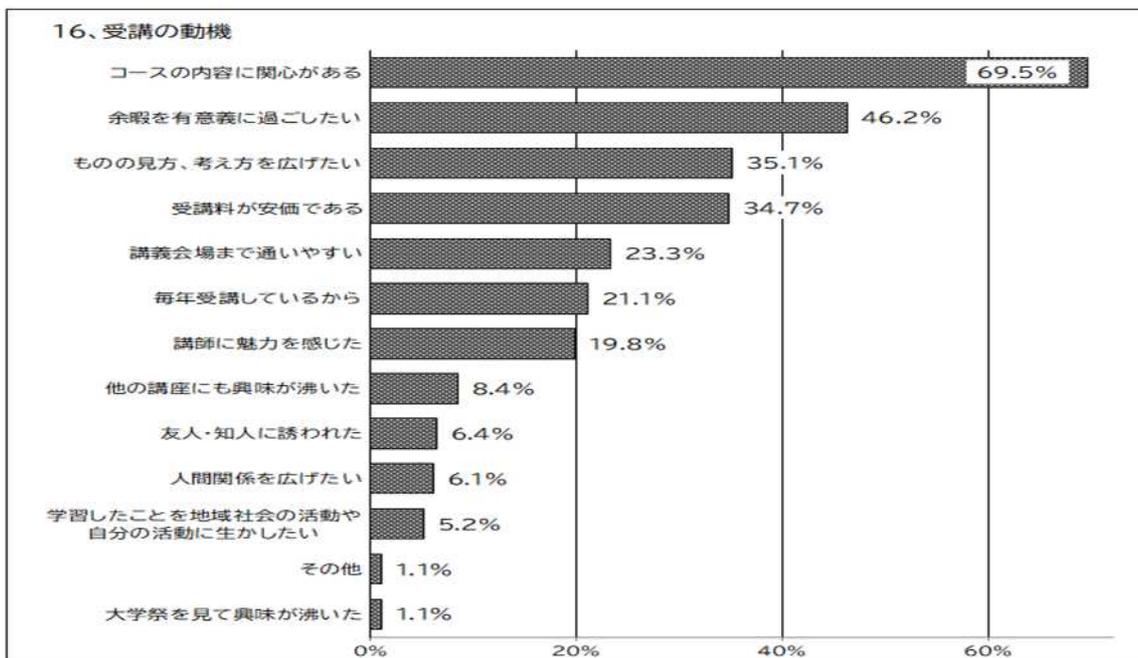
「15. 開設コース・学習内容等の情報取得手段」について



<考察等>

- ・市民大学の情報取得手段としては、例年同様「広報とやま」が最も多いのだが、2.3ポイント減少し、富山市ホームページの割合が2.5ポイント増えた。デジタル化が進んでいると言える。
- ・引き続き、「広報とやま」での周知を継続するとともに、ホームページの充実や今年度秋から開始したLINEの有効活用に努めたい。

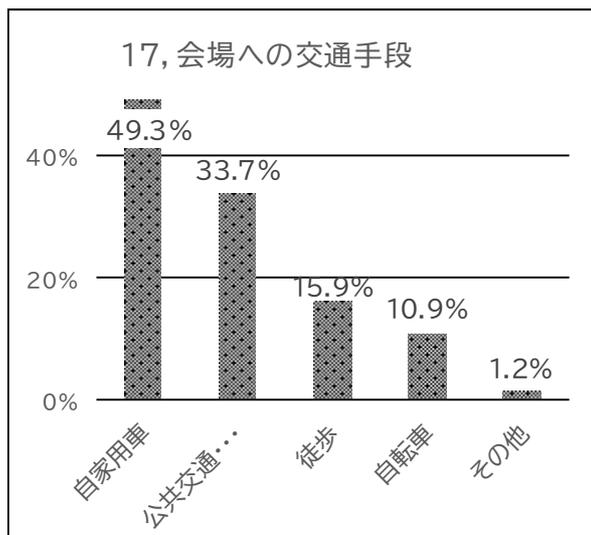
「16. 受講の動機」について



<考察等>

- ・「コースの内容に関心がある」が最も多い。次いで、「余暇を有意義に過ごしたい」「ものの見方、考え方を広げたい」となっており、例年同様の傾向である。
- ・次に「受講料が安価である」「講義会場まで通いやすい」が多いことも例年同様であり、物理的な面も動機の一つとなっているようである。
- ・「人間関係を広げたい」は6.1%にとどまり、交流を求める目的で市民大学を受講している人は少ないことが分かる。
- ・余暇を有意義に過ごすために市民大学を受講し、新たな知識の獲得や趣味等を開拓したいという思いが読み取れる。

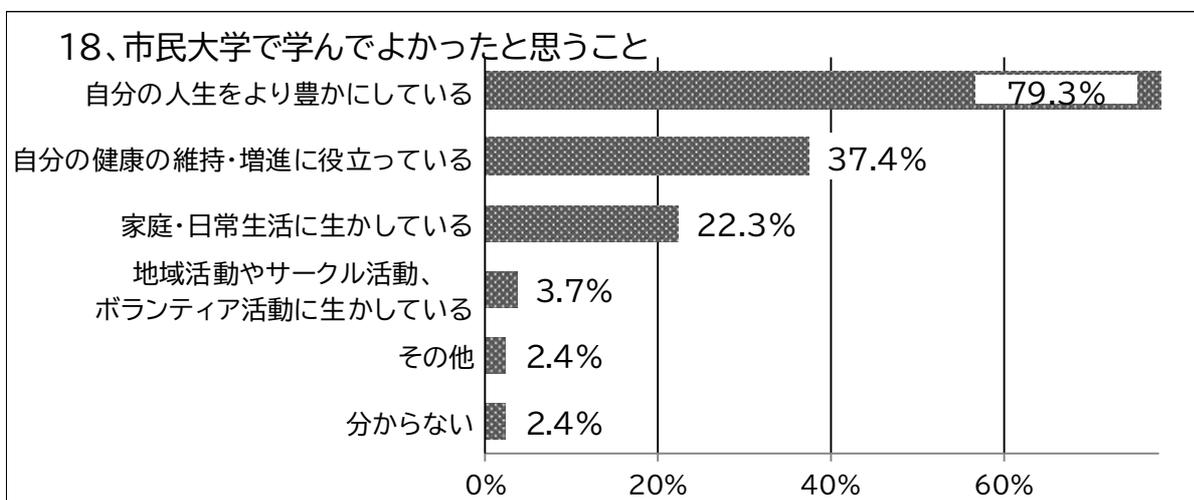
## 「17. 講義会場へ来場する際の主な交通手段」について



### <考察等>

- ・自家用車が49.3%とほぼ半数を占める。次に公共交通機関が33.7%となっている。
- ・2年連続で自家用車が増え、公共交通機関が減っている。これは、路線バスの廃線や便数減少等が要因となり、自家用車を使わざるを得ない状況にあるのではないか。特に、市民プラザ以外の会場では自家用車使用率が96.1%である。高齢化が進む中、受講者の安全が心配される。

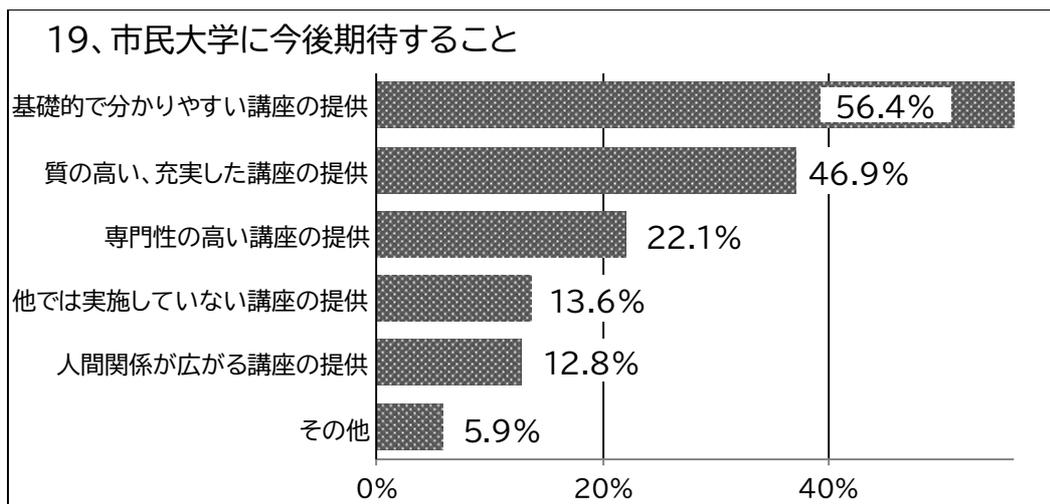
## 「18. 市民大学で学んでよかったと思うこと」について



### <考察等>

- ・79.3%の受講者が、「自分の人生をより豊かにしている」と回答している。
- ・「自分の健康の維持・増進に役立っている」は37.4%を占める。「リズム体操」や「100歳まで歩こう」など実際に体を動かすコースや、「くらしの中の和漢医薬学」「健康生活の知恵」といった健康に関するコースの受講者に限らず、市民大学に通うことが、心身の健康につながっていると実感していると感じる。

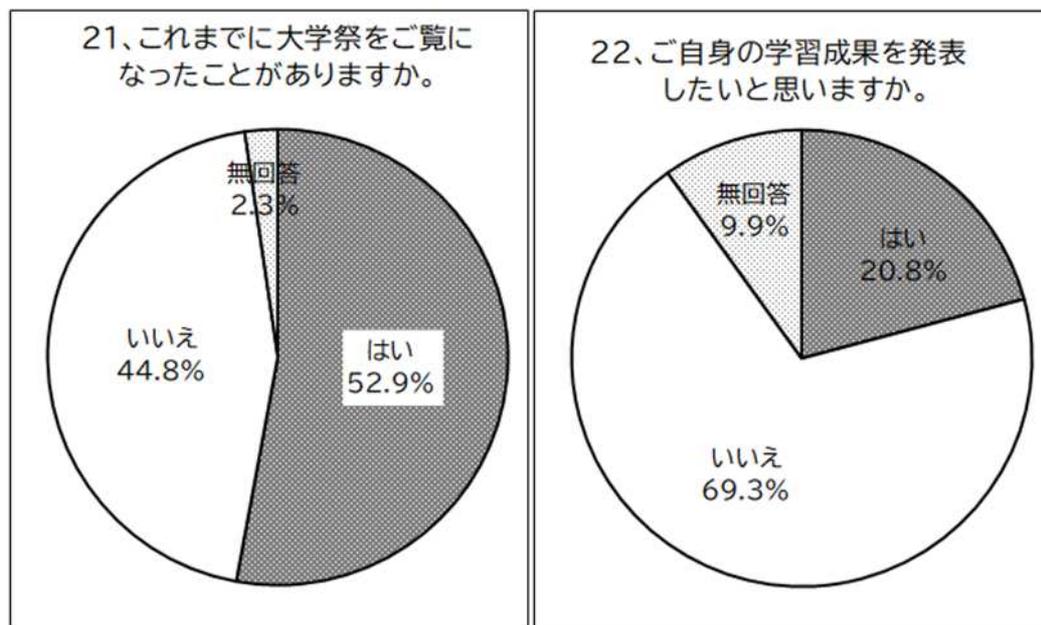
## 「19. 市民大学に今後期待すること」について



### <考察等>

- ・「基礎的でわかりやすい講義の提供」が52.4%を占め、最も要望が多い。また、「質の高い、充実した講義の提供」は43.7%を占めており、例年どおり要望が多い。
- ・一方で、「専門性の高い講義の提供」が21.4%と一定数を占める。
- ・「質の高い、充実した講義の提供」に努めることを基本に、今後も誰もが参加しやすい基礎的な講義の開設に力を入れていく。また、それと併せて専門性の高い講義も継続するなど、市民の多様なニーズに合ったコース・講義の提供に努める。

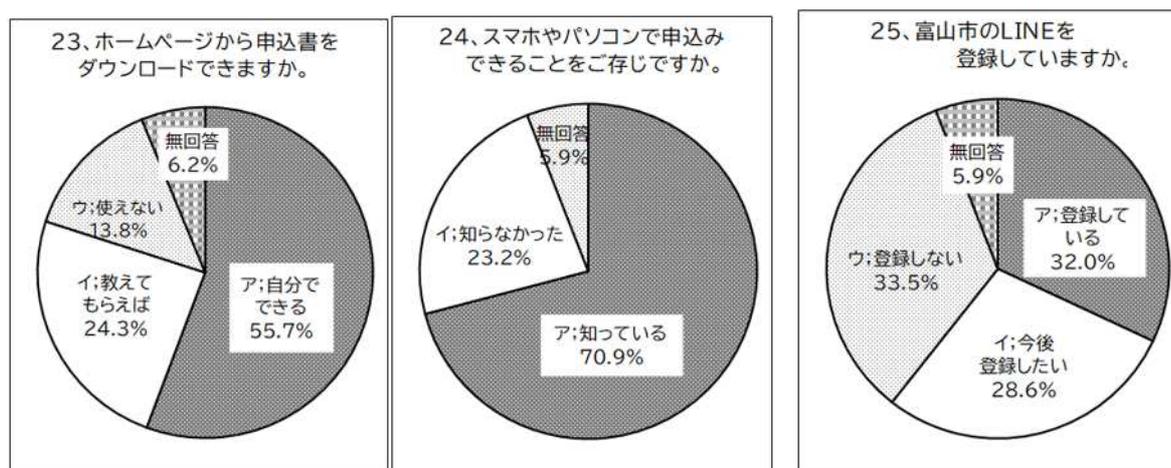
## 「富山市民大学祭」について【設問 21～22】



### <考察等>

- ・52.9% (56.4%) が「これまでに大学祭を見たことがある」と回答しているものの、44.8% (40.3 %) が「見たことがない」と回答している。
- ・「自身の学習成果を公表したいか」に対して、否定的な回答が多い。肯定的な意見は約2割である。発表を目標とする講座は、制作系と、現在ステージ発表を実施している講座等に絞られる。講義形式の講座の受講者は、発表を目標としていない。また、高齢化に伴い、運動系のステージ発表に抵抗を示す受講者が多く、今年度の大学祭では、出演者を集めることに苦慮した。今後、受講者の実態とニーズに沿った大学祭の企画が求められる。

## (7) 「デジタル環境」について【設問 23～25】



### <考察等>

- ・設問 23「自分でできる」55.7% (昨年 50.3%)、設問 24「知っている」70.9% (60.3%)、設問 25「登録している」32.0% (20.8%) と、急速にデジタル環境が整って来たことが分かる。
- ・令和6年度分の受講申込からインターネットによる受付を開始した。利用者は、令和6年度は約35% 今年度は49.3%と、急速に増えている。
- ・時代の変化に合わせて、申し込みや情報発信の方法を検討をしていくこととなるが、一部にはデジタル化についていけない受講者いることを考慮した上で、慎重に進めなくてはならないだろう。

## 7 アンケート全般について (考察)

- ・受講者の高齢化が進む中、市民大学を維持していくには、継続的に新たな受講者を確保していく必要がある。そのためには、魅力ある講座の運営と、受講者の満足度を高める工夫をすることが必要である。
- ・市民のニーズに合った市民大学を運営していくために、市広報をはじめ大学祭、特別講演会の周知を今以上に工夫し、受講者数の確保につなげる工夫が。

## 令和7年度 富山市民大学に関するアンケート

受講コース名

※ 富山市民大学運営の参考にするため、以下のアンケートにご協力をお願いします。  
(該当する項目に○を付けてください。)

● 受講経験等について

1	市民大学の通算受講年数	ア 初めて	イ 2～3年	ウ 4～5年	エ 6～10年	オ 11年以上 (年)
2	このコースの通算受講年数	ア 初めて	イ 2～3年	ウ 4～5年	エ 6～10年	オ 11年以上 (年)
3	今年度の受講数	ア 1コース	イ 2コース	ウ 3コース	エ 4コース以上 (コース)	

● このコースの時間・回数等について

4	現在の講義時間(休憩を含み120分など)	ア 長い	イ 短い	ウ ちょうどよい
5	講義の回数(10回・15回など)	ア 多い	イ 少ない	ウ ちょうどよい
6	講義の開始時刻	ア 早い	イ 遅い	ウ ちょうどよい

● このコースの内容等

質問項目	評価欄			
	満足	やや満足	やや不満	不満
7 講義内容について	4	3	2	1
8 講師の説明、指導について	4	3	2	1
9 講座の雰囲気について	4	3	2	1

● このコースを受講した成果

質問項目	評価欄			
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
10 学ぶ楽しさを味わうことができた	4	3	2	1
11 他の受講者との交流が広がった	4	3	2	1
12 学習内容を自主的に学んでいる	4	3	2	1
13 このコースをもう一度受講したい	4	3	2	1

● このコースを受講しての感想をお書きください。(自由記述)

14	
----	--

裏面に続く。  
裏面は、一人1回の回答です。  
他のコースで回答された方は、回答されなくて結構です。

ここからは、一人1回の回答となります。  
他のコースで記入された方は、回答されなくて結構です。

- 今年度の開設コース及び学習内容を知った方法 (該当するものすべてに○を付けてください。)

15	ア 広報とやま	イ 富山市ホームページ	ウ ラジオ・テレビ
	エ 地区センター等	オ 友人・知人	カ その他( )

- 受講の動機 (該当するものすべてに○を付けてください。)

16	ア ものの見方、考え方を広げたい	イ コースの内容に関心がある	ウ 講師に魅力を感じた
	エ 余暇を有意義に過ごしたい	オ 学習したことを地域社会の活動や自分の活動に生かしたい	
	カ 友人・知人に誘われた	キ 人間関係を広げたい	ク 受講料が安価である
	ケ 講義会場まで通いやすい	コ 他の講座にも興味が沸いた	サ 毎年受講しているから
	シ 大学祭を見て興味が沸いた	ス その他( )	

- 講座会場へ来場する際の主な交通手段 (該当するもの○を付けてください。)

17	ア 徒歩	イ 自転車	ウ 自家用車
	エ 公共交通機関	オ その他( )	

- 市民大学で学んでよかったと思うこと (該当するものすべてに○を付けてください。)

18	ア 自分の人生をより豊かにしている	
	イ 家庭・日常生活に生かしている	
	ウ 自分の健康の維持・増進に役立っている	
	エ 地域活動やサークル活動、ボランティア活動等に生かしている	
	オ 分からない	
	カ その他( )	

- 市民大学に今後希望すること (該当するものすべてに○を付けてください。)

19	ア 質の高い、充実した講座の提供	カ その他 (具体的に書いてください。)
	イ 専門性の高い講座の提供	
	ウ 基礎的で分かりやすい講座の提供	
	エ 人間関係が広がる講座の提供	
	オ 他では実施していない講座の提供	

- 新規に開設を希望する講座があれば、お書きください。(自由記述)

20	
----	--

- 富山市民大学祭について (該当するものに○を付けてください。)

21	これまでに、大学祭をご覧になったことがありますか。	ア はい	イ いいえ
22	市民大学祭で、ご自身の学習成果を発表したいと思いますか。(作品展示やステージ発表等)	ア はい	イ いいえ

- デジタル環境について (該当するものに○を付けてください。)

23	市民学習センターのホームページから市民大学の申込書をダウンロードできますか。	ア 自分でできる	イ 家族等に教えてもらえばできる	ウ スマホ・パソコンは使えない
24	スマホやパソコンから市民大学受講の申込みができることをご存じでしたか。	ア 知っている	イ 知らなかった	ウ /
25	富山市のLINEを登録していますか。または、してみたいと思いますか。	ア 登録している	イ 登録していないが今後したいと思う	ウ 登録するつもりはない

※ ご協力ありがとうございました。